

令和五年度 大阪府立清水谷高等学校

第七十六回 卒業証書授与式 式辞

寒暖を繰り返しながら、桜が蕾を徐々に蓄えて、新しい季節の到来を感じるこの佳き日に、ご来賓並びに多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、大阪府立清水谷高等学校令和五年度卒業証書授与式を挙げてきますことは誠に慶びに堪えませぬ。

只今、卒業証書を授与されました清水谷高等学校第七十六期二百六十七名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年間よく頑張りましたね。保護者の皆さまには本日も卒業の日をお迎えになられましたお喜びは如何ばかりかと拝察

します。入学時から昨年まで新型コロナウイルス感染症に翻弄され、二年以上もの間、自由に校内にも入れない制約の多い教育活動に対し、特段のご理解とご協力を賜りましたことに心より感謝と御礼を申し上げます。有難うございました。

さて卒業生の皆さん、今年の卒業式では、皆さんはマスク着用の制約なしに、互いの表情を満面で確認できます。先ほどの国歌斉唱や校歌斉唱、この後に予定している卒業の歌も、距離を空けたりせず大きな声を出して歌うことができます。

四年前、新型コロナウイルス感染症が多くの人を命を奪い、未知の恐怖として世界中を不安に陥れる中で、社会活動は制約され、日本全国で学校が休業したり、行事を縮小して見学者を入れられないように変更したりしました。新型コロナウイルスが現在消滅した訳ではないが、時間の経過の中で人の免疫とウイルスの毒性や感染力が変わり、人と人の共存が可能になったのでしよう。私たちが時間とともに生きている、時間が解決するということ。私たちは歴史的な出来事の中で体験しました。

そこから皆さんに伝えたいことが二つあります。一つめは「時間とはいのちを生きたことそのものである」ということです。皆さんは宇宙がビッグバンとともに始まったことを知っています。宇宙には始まりがあり、今も膨張し続けていることは

二十世紀の科学者たちが研究の成果として明らかにしました。このことは、宇宙の始まりとともに時間がスタートし、私たちの命は宇宙の膨張とともに生まれ、命を生きることが時間なのです。制服のない明日から皆さんは大人と扱われます。

数年もすれば皆さんは社会人として社会を支える立場になるでしょう。その時に、時間は宇宙の膨張であり、もし現状に留まるなら、それは時間に置いていかれること、即ち後退を意味すると覚えておいてほしいのです。だから臆せずどんどん

未来の新たな扉を開いてほしい、そう願います。

私は心配をしていません。皆さんは「Z世代」と言う、従来とは異なる価値観を持つ世代と言われる。タイパ、コスパを重視する一方で、個性の尊重や多様な価値観を受け入れ、ワークライフ

バランスを大事にすると言われています。また、生まれた時からデジタル環境があり、デジタル・ネイティブに育ったとも言われます。AIやロボテックスを駆使し、世界の様々な課題に前向きに取り組んで下さい。未来を楽しみにしましょう。

二つめは「Stay Confident. Stay Elegant! (優雅堂々)」ということです。世界で私より前の世代はベビーブーマーと言い、同世代人口が多くいて競争が激しく、人を押し蹴れても自分が良ければ良いという考え方を多く産みました。人の性と言えばそれまでですが、社会に活力を与える一方で、多くの人に不幸ももたらしてきました。今も武力や戦争によって、攻撃や侵略をする人たちが存在します。平和に暮らす人を騙したり、肉体的精神的に追い詰めたり、殺める人たちがいます。

欲望は次の欲望を生み、ドストエフスキーの『罪と罰』ではないが、結局自分が自業自得に振り回される結果になる。皆さんには是非、人を陥れて得る自分の幸せではなく、人を幸せにすることで自分が幸福になる道を選んでほしいと思います。

世界最高のホテル、ザリッツカールトンの合言葉は、「We are ladies and gentleman serving for ladies and gentleman」で、従業員は顧客にだけでなく、業者など全ての人に対して自信を持って優雅に対応することで高い評価を得ています。

皆さんも自信を持って優雅に振る舞い、先を急ぐ人には時に「お先にどうぞ」と譲ることで共存し、互いが幸せになる道を探してほしいと思います。結びに、卒業の饞として、今年の秋にロンドンで始まる予定の新作ミュージカル『Rosie』で、

十九歳で主演を務めるルーシー・トーマスの『We can change the World』を紹介します。このミュージカルは、人生の願いと夢、愛と忍耐、苦難と絶望、再生と希望の未来がテーマで、歌詞では、

「I sense a new beginning. A chance to build a Brighter future. To move beyond all that we once were. I believe we can change the world. 新たな始まりを感じる。明るい未来を築くチャンス。これまでの全てを乗り越え。私たちは世界を変えられると信じる。」と歌い上げます。今から

新たな道を進む皆さんの希望の未来を念じます。人生の目的はただ一つ。命を使って、幸せになることです。皆さんの幸せな人生を祈ります。

令和六年二月二十九日

大阪府立清水谷高等学校 校長 日笠 賢